

第1学年4組 道徳科 学習指導案

日 時 令和3年1月27日(水) 第5校時

場 所 1年4組教室

指導者 小野 優希

本時の授業の視点

視点1 考える必然性や切実感のある発問

○「褒められる前からなぜゆうやさんは120点の掃除をしたの？」と問うことで、外的要因(褒められる)がなくてもみんなのために働くことの大切さに気付くようにする。

視点2 物事を多面的・多角的に考えるための交流の在り方

○褒められて意欲が高まったゆうやさんの気持ちに共感させつつ、褒められる前から120点の掃除ができていたことの原因を考え交流する。

視点3 自己の生き方について考えることができる発問と振り返りの在り方

○みんなのために働くことは掃除以外でどんなことがあるか、現在の生活経験の中から自分なら何ができそうか考えることで、より働くことに対する道徳的心情を育てる。

1 主題名 みんなのために (C— 勤労、公共の精神)

2 教材名 「120てんの そうじ」

3 ねらい 褒められる前から120点の掃除をしていた理由について考え話し合うことを通して、外的要因のみで活動するだけでなく働くことのよさに気づき、みんなのために働こうとする心情を育てる。

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、「学習指導要領解説特別の教科道徳」の内容項目C「勤労、公共の精神」の「働くことのよさを知り、みんなのために働くこと。」に基づくものである。働くことは、日々の糧を自ら得て自立するなど自分の生活の維持向上を目的とすることだけでなく、働くこと自体が自分に課せられた社会的責任を果たすという役割も担っている。自分たちが行った仕事はみんなの役に立つことのうれしさ、やりがい、そのことを通して自分の成長などを感じられるようにする心情を育てていきたい。

(2) 児童の実態について

本学級(男子12名、女子15名)の児童は1学期、5年生に教えてもらいながら掃除の意味や仕方を少しずつ学んできた。11月に掃除に関する意識調査のためにとったアンケートによると、「学校の掃除は好きである」と答えた児童が76%にのぼり、意欲的に活動しようとする児童が多いことが分かった。靴箱や黒板掃除を中心に、机を運ぶことやほうきなど掃除の技術も向上してお

り、楽しんで取り組んでいる児童もたくさんいる。しかし、「掃除をすること」に集中しすぎて、「何のために掃除をするのか」という問いかけには、教室をきれいにするため・汚いからなど作業そのものの価値にしか気付いておらず、みんなのために働いているという意識には至っていない。そのため、自分の役割が終わった後に他の掃除の手伝いをしたり、新しい掃除場所を開拓したりとみんなのために掃除をしようと意識している児童は見られない。掃除の手順にも慣れてきて、余裕の出た今だからこそ、掃除について今一度振り返りレベルアップするためにはどうしたらよいかを考えていきたいと思い、本主題を設定した。また2学期の生活科「ひろがれえがお」では、家庭にはどのような仕事や自分でできることについて考え、家族が笑顔になるために、冬休み中もお手伝いを行ってきた。誰かのために働くという経験を生活科の観点からもつなげていきたい。

(3) 教材について

本教材は、みんなのために働くことの喜びを知ったゆうやさんたちが、さらに意欲的に掃除に取り組もうとする内容である。ゆうやさんの気持ちの高まりに共感させながらも、褒められる前から掃除ができていた理由について考えさせたい。そうすることで、掃除をするときれいになるということだけでなく、誰のために掃除をするのか、掃除をしたらどんな心情になるのかもじっくり思考できると考えている。そして、機械的に掃除をするのではなく、みんなのために働く意識をもってこれからの生活に実践しようとする意欲や態度を育てていきたい。

(4) 指導の工夫について

指導に当たっては次のことに留意したい。

- ・導入部では、掃除に対しての「好き・嫌い」の自分の意見を明確に持たせ、その理由を共有していきながら、現状の掃除の意識や意欲について率直な意見が交わせるようにする。
- ・展開部では、褒められて意欲を高めたゆうやさんの気持ちを考えさせるだけでなく、褒められる前から120点の掃除をしていたことに気付かせ、見方を変えて教材を読み解いていく。その際、どちらの活動にも理由を問いかけることで、外的要因（褒められる）だけではなく、内的要因（自分が〇〇したい、〇〇のために働きたい）にも目を向けさせる。
- ・終末部では、掃除以外にもみんなのために働いていることを、現在の生活経験に沿って想起させ、さまざまな場面で仕事が役に立つうれしさ、やりがいなど今後の生活における道徳的心情につなげたい。

5 学習指導過程

- (1) ねらい 褒められる前から120点の掃除をしていた理由について考え話し合うことを通して、
外的要因のみで活動するだけでなく働くことよさに気づき、みんなのために働こうとする心情を育てる。
- (2) 準備 児童：教科書 教師：ワークシート
- (3) 展開

展 開	学習活動・学習内容 予想される児童の意見	○教師の手立て ◆評価
つ か む ／ ふ か め る	<p>1 掃除に対する自分の考えを理由とともに発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除に対する多様な思い <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【好きの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室が綺麗になるから。 <p>【嫌いの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めんどくさいから。 ・ぞうきんが冷たくて汚いから。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・100点の掃除とは何か ・掃除の自己採点 <p>2 教材文を読んで考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・120点の掃除とは何か <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>120点の掃除ってどんな掃除かな？</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命する。 ・時間いっぱいする。 ・すみずみまで頑張る。 ・他のところも掃除する。 </div> <p>・「あしたはどこをそうじしようかな」と言ったゆうやさんの理由</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なぜ「あしたはどこをきれいにしようかな」とやる気が出たのかな。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ほめられたから。 ・嬉しかったから。 ・掃除をすると気持ちがいいから。 ・すっきりした気持ちになるから。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・褒められる前にも120点の掃除をしていた理 	<p>○掃除に対しての「好き・嫌い」をいう感情に理由をつけて考えさえることで、掃除に対して様々な見方があることを知る（人間理解・他者理解）。</p> <p>○「今の自分の掃除は何点か」と問い、自己評価をすることで、120点の掃除はどういったものなのか興味を持ち、学習に取り組むことができるようにする。</p> <p>○教材文を読む前と読んだ後に同じ質問をし、「120点の掃除」とはどのようなものなのか考えさせる。そうすることで、元々自分の中にあった良い掃除の仕方から、教材から学びとった良い掃除の仕方へと思考を広げることができる。</p> <p>○ゆうやさんの気持ちを確かめることで、前向きな気持ちで掃除に取り組んでいることに気づかせる。</p> <p>○先生の言葉で「あしたはどこをそうじしようかな」と言ったゆうやさんの思考の流れを押さえ、褒められたことがやる気を向上させた一つの外的要因であることに気づかせる。</p> <p>○褒められる前から120点の掃除をして</p>

/ ふ り か え る	<p>由</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 褒められる前からなぜゆうやさんは 120点の掃除をしたの？【中心発問】 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・みんなが気持ちよく過ごすため。 ・汚い教室で過ごしたくないから。 ・自分がすっきりするため。 ・友達と掃除をするのが楽しいから。 ・やった方が気持ちいいから。 </div> <p>3 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の掃除の目標 ・みんなのために働くという価値の一般化 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> みんなのためにどんなことができるかな。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・給食当番 ・係活動 ・落とし物を拾う ・お手伝い </div> <ul style="list-style-type: none"> ・教師からの紹介による意欲の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・これから働くときの自分の気持ち <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ・みんなのためにできることを探したい。 ・自分のできることを一生懸命頑張りたい。 </div>	<p>いたことを伝える。そうすることで、120点の掃除を行う理由が褒められること以外にもあるのではないかと目を向けさせる。</p> <p>○出てきた意見の主語を明確にすることで、みんなのために働いていることに気づかせる。(価値理解)</p> <p>◆みんなのために働くことのよさや喜びについて気づくことができたか。【ワークシート・発言】</p> <p>○掃除だけでなく、みんなのために働ける場面を想起する。そうすることで、みんなのために役立とうとする心情を高められるようにする。</p> <p>○今までの行動にも価値付けすることで、みんなのために役立っていたという嬉しさ と他にもやりたいという高い意欲につなげる。</p> <p>◆自分の行っている仕事について考え、働くことによってみんなのためになっているということに気づくことができたか。 【発言・ワークシート】</p>
----------------------------	---	--

6 考察

(1) 「視点1 考える必然性や切実感のある発問」について

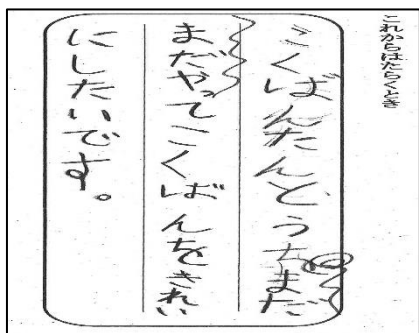
今回、ゆうやさんが120点の掃除をした理由を時系列から遡るよう読み取っていった。このことにより、褒められる前から掃除をしていたということに児童自身が気づき、驚きや疑問を感じる切実な中心発問につながった。「褒められる前からなぜゆうやさんは120点の掃除をしたの？」と行動の理由を問う中心発問にしたが、他律段階の一年生が、褒められる以外で頑張れる理由を一年生なりに考え、働くことは自分のためだけではなく他の人のためにもなるということに気付けたのではないかと考える。

仮定の発問（「もし先生が褒めてくれなかったらゆうやさんは120点の掃除をすると思う？」「掃除はやりたい人だけやればいいよと先生に言われたら、どうすると思う？」など）をすることで、ゆうやさんが褒められなかった場合などを想像し多角的な見方で考えられ、掃除をする意義や働くことのよさについてより本時のねらいに迫ることができたのではないかと考える。

(2) 「視点2 物事を多面的多角的に考えるための交流の在り方」について

交流の際、自分と相手の意見を比較し、思ったことを一言コメントするよう働きかけた。話し合っている様子やコメントの内容から、多様な考え方があると気付いているようであった。

全体交流の場では、出た意見を類型化し板書することで、意見の似ている部分や差異が視覚的に捉えやすくなり、掃除をするのは自分のためだけではないということにより気づきやすくなるのではないかと考える。そのため普段の授業の場でも、意見の類型化等を仕組み、新しい価値や考えに出会える場の設定を今後も工夫していきたい。



意欲的な振り返りより



交流の様子

(3) 「視点3 自己の生き方について考えることができる発問と振り返りの在り方」について

導入で取り上げた学校の仕事や活動（給食当番・係活動など）を終末部で再び着目したことで、それらもみんなのためになっていることに気づき、本時の価値をより広い視野で捉えることができた。また「これからどんな気持ちで働きたいか」と問うと、褒められることにより喜びややる気を感じていた児童が、「もっと自分のやること（できること）を探したい」など、みんなのために働きたいという意欲的な記述も見られた。

友達が本時を通してどんなことを学んだのか、どのようなことを頑張ろうと思ったのかを知るという活動も、物事を多面的多角的に考え深化していく一つの方法である。そのため、この振り返りの場でも交流を行い、他者との意見や考え方の違いに触れることで、より児童自身に驚きや実感がわくのではないかと考える。